

第2回「山の日」記念全国大会開催記念 「山の日」写真コンテスト受賞作一覧

最優秀賞：「イワカガミ咲く」／阿部 茂（栃木県）



(講評) 初夏を代表するイワカガミを大きく取り込み、背後の那須の山をぼかすことでイワカガミが際立っています。イワカガミを斜めに配置したことで写真に動きと季節感が盛り込まれた力作です。イワカガミの面積を少し大きくするとさらに良い写真になります。

優秀賞：「那須連山には、残雪と桜がよく合う」／柴田 敏文（茨城県）



（講評）桜と残雪の那須連山と雲を組合わせた春爛漫の美しい写真です。青空の比率をもう少し削り、桜の面積を多くするとより良い写真になったでしょう。

優秀賞：「噴煙凍る」／大杉 光司（栃木県）

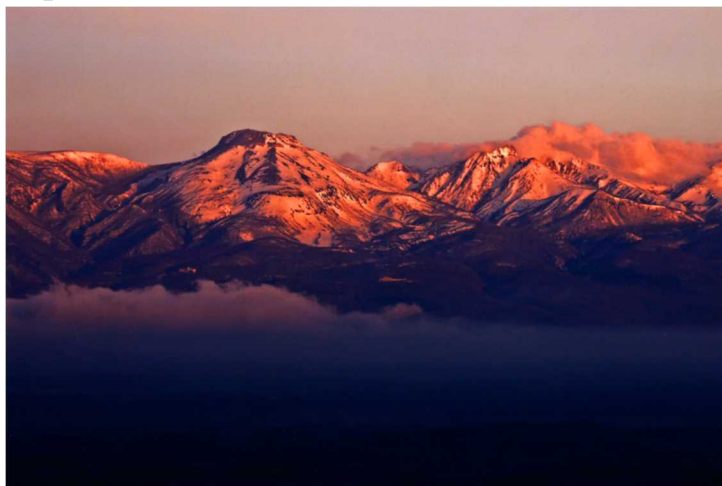


（講評）厳しい冬の茶臼岳で撮影した写真です。噴煙で山の躍動感と厳しさが表現された力強い写真です。空の部分をもう少し切り取ると、山が大きく表現されさらによい写真になります。

入賞：「那須岳からの贈り物」／茂木 貞夫（栃木県）



入賞：「雄姿現る」／高柳 一徳（栃木県）



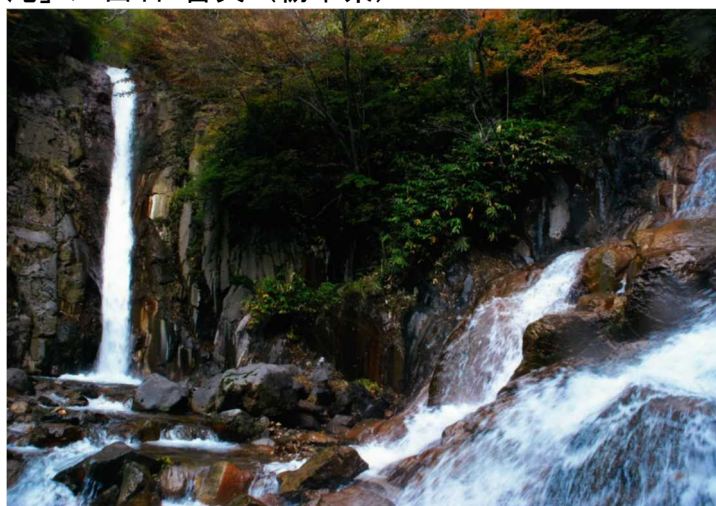
入賞：「娘と主人」／柳田 陽香（神奈川県）



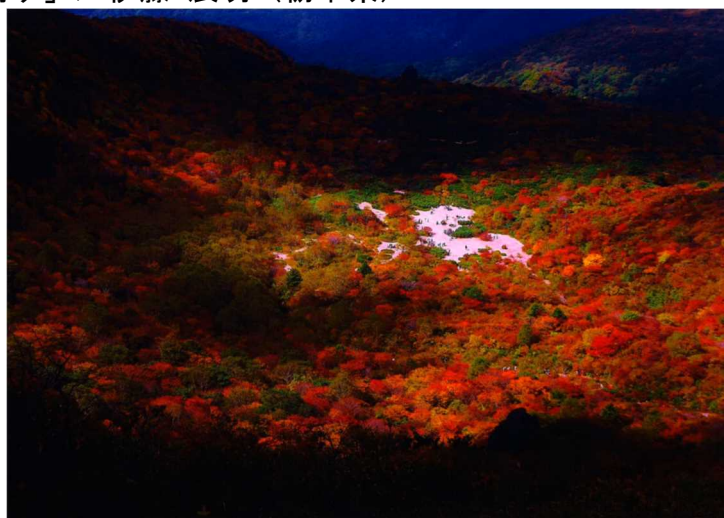
入賞：「荒野をわたる風」／関谷 賢治（栃木県）



入賞：「両部の滝」／白石 哲夫（栃木県）



入賞：「日、射す」／伊藤 辰明（栃木県）



【コンテスト全体を通しての講評】

全体を通して、A3大、ワイド四つ切という難易度が高い条件の中、完成度の高い作品が多くありました。山の花々や紅葉、雪に覆われた山の姿のほか、登山を楽しむ人々や温泉に入って寛ぐ姿など、「那須」らしさが表現された写真が多かったのも特徴的でした。

最後に1つアドバイス。自分が素晴らしい光景に出会った時、はじめに撮りたい主役を決めましょう。次に、主役が際立つように画面全体を有効に使い構図を決めます。この時、奥行きや動き、季節感や臨場感を盛り込み、写真の完成度を高めることが大切です。写真の完成度が高まれば写真に感動が盛り込まれます。